

令和6年度 梅原小学校 学校経営の全体構想

<p><県> ○第4次岐阜県教育振興基本計画 *「ふるさと岐阜」で育む自信と誇り *よりよい未来の実現に挑む続ける (自立力・共生力・創造力) <市> ○やまがた教育ビジョン 2020 -義務教育9年間で目指す児童生徒像- *違いを認め、それぞれが努力し、あたりまえに支え合える人 *自分の頭で考え、多様な人と協働し、新たな価値をデザインできる人</p>	<p>学校の教育目標 豊かな心で たくましく生きる 梅原の子 自己有用感を高め、梅原の子としての自信をつける</p> <p>◆本年度 めざす学校像 ○どの子も自分らしく伸びる学校 ※違いを認め、自分も相手も受け入れて、心身ともに健康に、お互いに心地よく生きる未来を切り拓く姿 Well-Being ○一人一人の成長を願い、全ての子どもが自分らしく成長できる支援を考え続ける職員が育つ学校</p>	<p><地域が学校に寄せる期待> *自然豊かな環境を後生に ふるさと山県市のよさを知り、ふるさとを愛する子どもを育てる *変化する社会で、しなやかに生きる。 *自ら考え判断し、主体的に活動する子を育てる *多様な人と関わり、相手の気持ちを大切に し、違いを認め合い、共によりよい生活をつくる子を育てる *健やかな体をつくり、自他の命を大切にできる子を育てる</p>
---	--	--

<p>未来を創る確かな学力と実践力</p> <p>進んで学び、考え、表現できる子 やる気</p>	<p>豊かな人間性</p> <p>思いやりがあり、助け合う子 優しさ 夢や目標をもち、粘り強くやり抜く子 根気</p>	<p>健康・体力</p> <p>健康で明るく、元気な子 元気</p>
---	--	---

<p>身に付けたい9つの力</p> <p>○伝える力 ○共に考える力 ○粘り強く取り組む力 ○体力 ○判断し実行する力 ○試行錯誤する力 ○健康づくり力 ○コミュニケーション力 ○危機回避力</p>	<p>資質・能力の育成</p>	<p>何ができるようになるか</p> <p>・自ら学び、考え、積極的に関わろうとすることができる。 ・相手の立場を尊重し、互いに心地よく生きようとする ことができる ・健やかな心身を自分からつくり出そうとすることができる。</p>
---	------------------------	---

<p>みんなで創る授業づくり 進んで学び、考え、表現する</p>	<p>みんなで高まり合う学級・学校づくり 違いを認め合い、助け合う 試行錯誤し、粘り強くやりぬく</p>	<p>健康で安全な生活づくり 自分の健康は自分でつくる</p>
<p>【今年度の重点】 ○「わかった」「できた」「おもしろい」と思える学習活動の工夫 深まりを実感する交流の場の設定 ・専門性を生かした授業の質の向上（教科担任制） ・ICTを活用した、学習の個別化、最適化 ・ダ・ヴィンチルーム活用（共に考え、学び、発想へ） ・全学年スポット合同学習の実施 ・学習内容に応じた学習集団の選択 ○認知機能の強化 ・基礎学力の土台づくり 話す・聞く ○読書活動の推進 ・読書時間の確保と家庭での読書の推進</p>	<p>【今年度の重点】 ○共に生きる力を育む活動の充実 ・異年齢集団活動の充実 なかよし班・掃除 ・双方向の「よさみつけ」 ・学校間交流による多様な関わり ○居心地のよい学級、学校づくり ・一人一人に居場所がある学級経営 ・いじめ未然防止と教育相談の充実 ・エビデンスに基づいた支援 ○基本的な生活習慣の定着 ・児童会によるあいさつ活動の充実 ○実体験活動の充実と非認知能力の強化 ・ふる里活性化協議会、山県実体験留学、介護認定講習</p>	<p>【今年度の重点】 ○進んで楽しめる運動と遊びの工夫 ・委員会による「チャレンジ運動」の実施 ・異年齢集団での外遊びと運動の推進 ・運動会での縦割り種目実施 ○命を自分で守り切ることができる力の育成 ・KYTを取り入れた安全教育・防災教育の実施 ・危機回避能力の育成 外部講師と連携 ・防災教育の充実 DIG・HUGの実施 ○健康教育の実施 ・委員会活動を軸とした環境づくり ・家庭と連携したメディアコントロール ・早寝・早起き・朝ご飯の推進</p>

<p><多様な学びのニーズに応える環境の充実 学校の教育目標を具現するための特色ある取組> ◇「山県学園構想 市内9小学校3中学校とカリキュラム連携・学びに応じた小集団・大集団の使い分け」 ○校内・異年齢集団【縦割グループ】での特別活動、掃除、休み時間の遊び等の教育活動 ○山県学園構想 全学年スポット合同授業 ※1、2年：交流活動 3～6年：交流学习 ◇切れ目のない支援の充実をめざした関係機関との連携 低学年時の見立てと対応の研修 ◇市や地域（梅原地域ふる里活性化協議会）連携による実体験活動 食農教育・山県実体験学・環境教育</p>
--

土台となる教育活動：自己有用感を高める双方向のよさみつけ

伝統ある教育活動 「地域との連携による こどもまんなか学校」 こどもの目線で こどもの利益 を考える

<p>いじめを絶対に許さない学校風土づくり 【未然防止】・全児童対象（月1回）のアンケート実施 ・アンケートに基づいた「教育相談」・生徒指導交流会の実施 【適切な教育指導】・「いじめは絶対に許されない」という意識の醸成 ・SOSの出し方教育の実践 ・SOSを出すことのできる関係づくり 【実効性ある指導体制の確立】・担任が一人で抱え込まないための迅速な定期的な校内いじめ対策委員会の実施と見届け 【家庭・地域との連携】・保護者等からの情報には、謙虚に耳を傾け、誠意が伝わる対応</p>

<p><学校運営協議会> 地域全体で育てる ○梅原ならではの教育活動の継続・充実 <取組1> 地域人材「梅原小ボランティア」の活用 ○生活科でのゲストティーチャー「畑の先生」 ※野菜、歴史、昔の遊び ○学習支援部会による学習支援の充実 ※食農体験と「梅っこタイム」（総合）の構造化（3,4,5年）、「梅原の荘」をキーワードにした学習（6年） <取組2> 持続可能な地域人材の確保 運営協議会と連携したボランティア募集 <取組3> 学校評価を生かした学校運営 PDCAサイクルの確立</p>
